

企画
展示室

中村琢二展

2007年 9月11日[火] - 10月21日[日]



秋の山寺 8号

経 歴

- 1897 M30 佐渡に生れる。6歳より福岡に転居。
- 1924 T13 東京帝国大学経済学部を卒業
- 1930 S 5 第17回二科展に初出品。安井曾太郎に師事する。
- 1933 8 鎌倉名越谷にアトリエを構え、終身居住。
- 1956 31 一水会の運営委員となる。
- 1962 37 第5回新日展で文部大臣賞を受賞。
- 1963 38 第19回日本芸術院賞を受賞。
- 1981 56 日本芸術院会員、日展顧問となる。
- 1988 63 没享年90歳。

講演 中村良太氏 (ご長男・鎌倉在住)
— 父 中村琢二を語る —
日時 9月11日 午後2時より
会場 真下慶治記念美術館学習室

真下慶治
常設展示室

最上川河口展

2007年 8月28日[火] - 11月1日[木]
11月27日[火] - 12月27日[木]

山形県
村山市 真下慶治記念美術館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1

TEL.0237-52-3195 FAX.0237-55-2152 E-mail massimo@city.murayama.lg.jp
massimo keiji memorial museum of art

最上川河口展

8月28日(火) - 11月1日(木) 2日(金) 臨時休業
11月27日(火) - 12月27日(木)



冬 河口のあたり '986 P80号



最上川風景 - 飯森山 - 1958 30号

今年はお盆過ぎに暑い日が続きました。温暖化を感じる夏でした。年々気候が変わり、風景も変わりますが、せめて美術館から眺める景色は大切に守ってきたいものです。

今年の最上川展は、上流から順に展示いたしました。平成19年の締めくくりは「最上川河口」と致しましたが、清川橋を渡るとそこは庄内です。空が開け、空気も風も違います。昭和63年、IF松山町にアトリエを建て晩年あらたな河口風景を描きました。

ご高覧の程、お待ち申し上げております。

開館三周年記念

真下慶治と日展作家30人展

11月3日(土) - 11月25日(日)

— ギャラリートーク 日展評議員 松田 茂 氏 11月3日(土) 午後2時より —

企画展示室

龍生派いけばな展 — 秋の薔薇をテーマに —

10月23日(火) - 11月1日(木)

日展作家30人展

11月3日(土) - 11月25日(日)

クラシックカメラと三難所写真展

11月27日(火) - 12月27日(木)

学習室

エッチング展 9月1日(土) - 9月30日(日)
ゴットリーブ グリンダ (ドイツ在住)

アートクラブ

大淀いもこまつり 9月30日(日) 午前11時より
美術館テラスにて

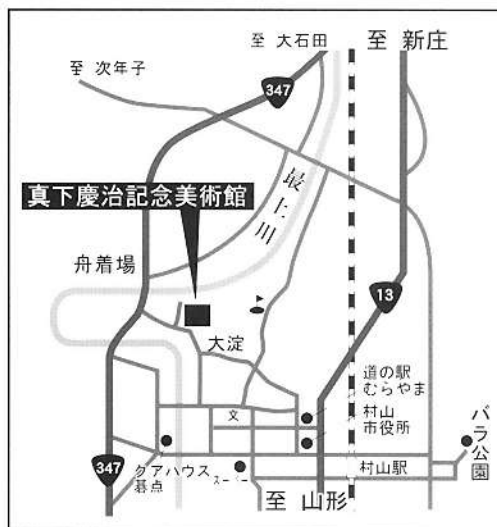
錦心流 薩摩琵琶 演奏会 11月25日(日) 午後2時より

喫茶コーナー

コーヒー(ホット・アイス)・お抹茶(お菓子付)
ケーキセット・オレンジジュース

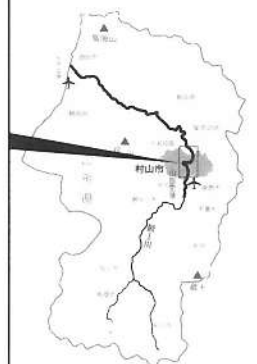
ミュージアムグッズ

図録・ポスター・絵葉書・一筆啓上箋・額各種
パンダナ・カップ&ソーサー 他



アクセス

JR 村山駅から タクシーで10分
東根ICから 国道13号で20分



中村琢二展

9月11日（火）－ 10月21日（日）

	作品名	号数	制作年
1	木崎湖秋色	F10	1950
2	妙義山麓の駅	F12	1952
3	永浜氏像	P12	1935
4	榛名湖の秋	F8	1941
5	北京の胡同	F6	1944
6	和服婦人	M30	1952
7	最上の女	F30	1961
8	那智の瀧	P30	1959
9	茶羽織の女	P30	1954
10	秋の山寺	F8	1958
11	早春の大山	F10	1971
12	白い帽子の婦人	P30	
13	静物	P12	1953
14	白川郷の秋	F8	1981
15	木曾の須原宿	F10	1980